





# GODAC海人科授業の感想

一年 波平笑子

9月26日に、名護からGODACの人が、私たちが高嶺中学校に来てSDGsの14番目の「海ゴミ問題」について話してくれました。今、世界じゅうの海にゴミが落ちていて、その中でもプラスチックごみが多くすてられていくそうです。海に落ちていくゴミは、海底にも落ちていって魚の数より2050年には、海の中にいる魚の数よりも海ゴミの方が多くなっているといわれています。

プラスチックは、文具やペットボトルだけじゃなくて、私たちが毎日着ている服にも使われているそうです。

私は、海ゴミ問題に願いがあります。今、海にはゴミがいっぱいあってウミガメや魚などが苦しんでいるので、苦しませたくないです。もし自分がプラウチックを食べたらどんなだろうと考えてゴミはゴミ箱に捨ててほしいと思いました。これからはいきれいな海にしたいです。

一年 伊敷瑠心

9月26日火曜日の6校時、視聴覚室でGODAC出前講座がありました。

海にプラスチックがいっぱいある理由は、1年間に4億トンも作っているからです。人類が生産したプラスチックは83億個でその中で捨てた量は63億とほとんど捨てられているとわかりました。そして、リサイクルされているのは9%、12%は燃やされていて、残りの79%は海などに流れて行っているといっていました。

次に、プラスチックの特性について教えてくださいました。プラスチックの特性の一つ目は、分解されやすいという特性でした。二つ目は姿を変えやすいという特性でした。その特性で、海に流れるとマイクロプラスチックという小さいものになり、回収できなくなるそうです。しかも、今はそのもつと小さいプラスチックという人の体内に入るものも見つかっているといっていました。GODACの人が、日本には江戸時代からリサイクル文化があったそうなので僕達も頑張りたいです。

一年 牧志喜平

僕たちは、9月26日の火曜日にGODACの出前講座でプラスチックごみ問題につ

いて知りませんでした。まず、JAMSTECという組織があることを知りました。その組織が海洋プラスチックごみ問題について取り組んでいるそうです。プラスチックの問題や特性などを知りませんでした。

一つ目は、人間が生産してきたプラスチックとすててきたプラスチックについて知りました。人間が生産してきたプラスチックの量は、83億tで捨ててきたのは63億tです。その数を聞いたときは、びっくりしました。

一年 玉城彩

九月二十六日の五校時にGODACの澤野さんが講演に来て下さいました。GODACは深海などについて研究されていて、今回は海洋ごみについてのお話をして下さいました。

お話の中で一番印象に残ったのは、海ごみの行方です。海ごみのほとんどがプラスチックであり、いくつかの種類があるそうです。ペットボトルのキャップ等の軽いものは海をたぐい、マネキンの頭やビンなどは重いので、深海に沈んでしまい、回収できなくなってしまうそうです。

一年 島村水芭

9月26日に、GODACの出前講座がありました。海洋ゴミについて話を聞きました。人類がこれまで生産したプラスチックが83億tで捨てられた量が63億tでほとんどが海に捨てられているということが分かりました。

また、リサイクルされている割合が約9%で79%は自然環境に行っているの聞いて、あまり、リサイクルされていないんだなと思いました。細かくなつたプラスチックがマイクロプラスチックになってそれを生き物が食べてしまつたりと、生態系にもプラスチックが見つかったりという話を聞いて、とてもかわいそうだなと思います。世界でも2050年までに海ゴミをゼロにするために、プラスチック削減の取

り組みを行っているということも分かりました。私も、海に落ちているゴミを拾ったり、プラスチックをなるべく使わないようにして海ゴミを減らしていきたいです。

一年 徳元遥世

今日は、GODACの人が学活の時間に海ごみについて話してくれました。内容は、海洋ごみについてです。

海洋ごみの問題はたくさんあって、中でもゴミの量やマイクロプラスチックの問題が気になりました。これまで、プラスチックの生産が開始され、使用し始めたのが千九百六十年代で、これまでに生産したプラスチックの量は八十三億トンで、その内の捨てられたプラスチックの量は六十三億トンで、たくさんの方が捨てられています。今年には魚よりゴミの方が多くなると推測されています。

## 網走第二中学校オンライン交流会の感想

三年 城間徠志

10月13日金曜日5・6校時に網走第二中学校とオンライン交流会を行いました。最初に、網走第二中学校の街について教えてもらいました。あつちでは、監獄で出てくる料理が食べられる店があつて少しびっくりしました。そして、北海道にある流水を利用してソフトクリームやお酒をつくっている、びっくりしました。他にも、カニの話や地域での行事があることを知って面白かったです。

次に、自分たちの発表をやりました。自分たちは、糸満の特産物である海ブドウや方言や今の海の状況などを発表しました。そして、最後にクイズを出しました。簡単だったけど面白かったのでよかったです。最後に、網走第二中学校でわかつたことを北海道でいかしたいなと思えました。

三年 川満日向汰

今日の網走第二中学校とのオンライン交流会をして、びっくりしたことは、北海道から沖縄まで2000km離れていることがびっくりしました。

網走市は、糸満市とはちがいが美術館や事務所といろいろあつてすごいなと思えました。また、海が近いと聞いてすごくカニや魚がいっぱいとれることがわかりました。糸満と網走は魚や海とかが魅力で盛んなところだと思えました。また、雪で学校が休みになったりすると聞いていいなと思えました。

三年 新屋清正

10月13日金曜日に網走第二中学校オンライン交流会をしました。まず最初に網走の人たちから来ました。網走には、いろいろなカニの料理がありカニを食べて取るという行事や料理のことを教えてもらいました。

また、北海道の流水を使ったソフトクリームがあるのを知りました。僕たちは糸満の行事や地域のことを紹介しました。サバニやサンティンモー公園のことも紹介しました。

三年 山城来夢

10月13日金曜日に、網走第二中学校とオンライン交流会をしました。網走には、湖、川、山、海、流水、美術館、刑務所がありました。網走の刑務所は、脱獄ができません。昔に一人脱獄している人がいました。美術館には、オホーツクをかけた画家、伊串佳一さんの絵があるのを知りました。伊串佳一さんの絵がオホーツクを見ることが分りました。私は、オホーツクを思いました。また、網走は、オホーツクに近いので、流水が有名だということが分かりました。私は、流水を見たことがないので、流水館で流水のことについて知りたいと思

いました。

私は、この交流会を通して、糸満市と網走市はあまり関係がなかったのを知りました。走の冬になると気温がマイナスになるとい

うことがわかり、めっちゃ寒いなと思

ました。